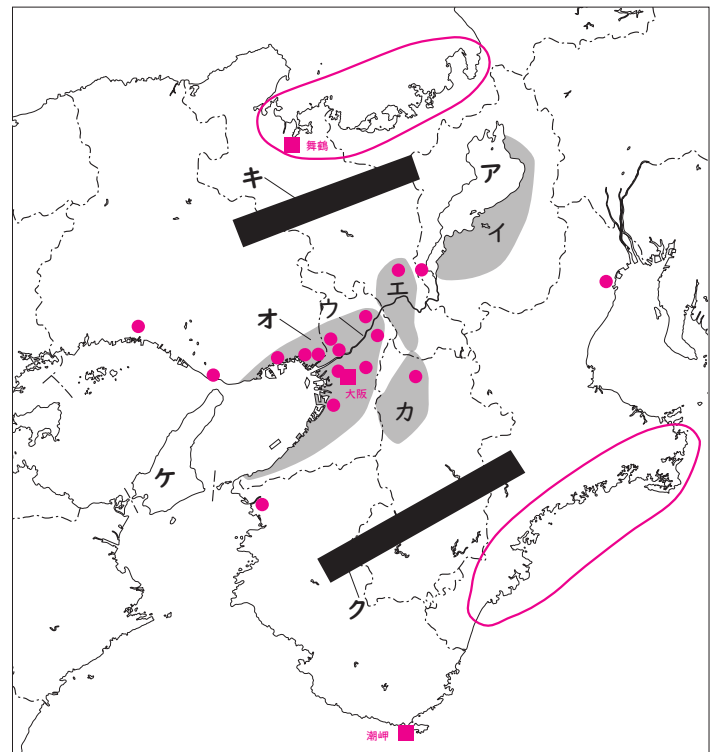


Ⅰ. 中央部の低地と南北の山地

(1) 近畿地方の主な地形の名称を記入してみよう。

ア	琵琶	湖
イ	近江	盆地
ウ	淀川	
エ	京都	盆地
オ	大阪	平野
カ	奈良	盆地
キ	丹波高地	
ク	紀伊山地	
ケ	淡路	島

図Ⅰ



(2) 近畿地方の標高の特色と、琵琶湖に出入りする川の特徴を説明してみよう。

標 高	琵琶湖に出入りする川
(例) 琵琶湖から大阪湾にかけての中央部の標高が低く、その周辺の地域の標高が高くなっている。	(例) 琵琶湖には周囲の山々から多くの川が流れ込んでいるが、琵琶湖から流れ出るのは瀬田川と琵琶湖疏水のみで、水はいずれも大阪湾の方向に流れていく。

(3) 近畿地方で、リアス海岸がみられる地域を2か所赤く囲み、その地域の海の名称を調べてみよう。

若狭湾 ・ 熊野灘

(4) 図Ⅰのケの島は、本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋のルートの一つになっています。本州とケを結んでいる橋と、ケと四国を結んでいる橋の名称を地図帳で調べてみよう。

本州とケを結んでいる橋	明石海峡大橋	ケと四国を結んでいる橋	大鳴門橋
-------------	--------	-------------	------

(5) 右に示した近畿地方の人口30万以上の都市を、の図Ⅰに赤丸で示し、分布の特色をまとめてみよう。

四日市 大津 京都 大阪 堺 東大阪
 豊中 枚方 吹田 高槻 神戸 姫路
 西宮 尼崎 明石 奈良 和歌山

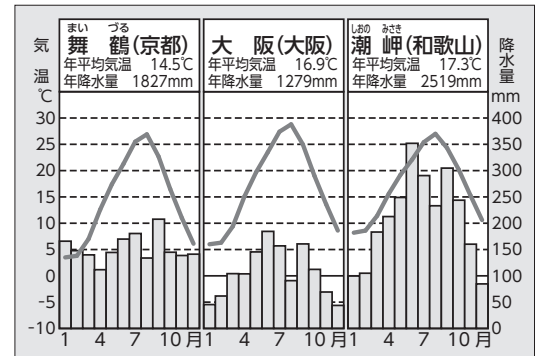
(例) 中央部の平野部の淀川沿いや大阪湾の沿岸に多く分布している。

2. 三つの地域で異なる気候

- (1) 舞鶴、大阪、潮岬の場所を地図帳で確認し、図 I に赤い四角で示してみよう。

- (2) 次の①～③にあてはまる季節を記入し、それぞれの都市の気候の特色をまとめ、気候と関連する地域の特色を挙げてみよう。

資料Ⅱ



	舞鶴（北部）	大阪（中央部）	潮岬（南部）
気候の特色	ほかの地域と比べて、 (① 冬) の降水量が多い。	(② 夏) の暑さが厳しく、 年間の降水量が少ない。	(③ 夏) の降水量が特に多い。 黒潮の影響で冬も温暖。
地域の特色	(例) 北西からの季節風の影響で冬の雨や雪が多く、 山間部にはスキー場もある。	(例) 夏の暑さが厳しく、京都などの盆地では、 冬の冷え込みも強い。	(例) 紀伊半島では林業が盛んで、 和歌山県ではみかんや梅などの果樹栽培と観光業が盛んである。

- (3) 近畿地方の中央部は、なぜ年間を通して降水量が少ないのだろうか。また、降水量が少ないことに対して、どのような対策をしてきたのだろうか。

年間の降水量が少ない理由	対策
(例) 北と南を山地で挟まれているので、夏も冬も季節風がさえぎられるため。	(例) 水不足のときでも田畑に水を送れるように、 播磨平野や奈良盆地などではため池が多くつくられてきた。

本時のまとめ

◆ 近畿地方の気候の特色を、北部・中央部・南部に分けて説明しよう。

北部	中央部	南部
(例) 冬に雨や雪が多く降る。	(例) 一年を通して降水量が少なく、 盆地を中心に夏の暑さが厳しく、 冬は冷え込む。	(例) 黒潮の影響を受け、冬も温暖で、 夏の降水量が多い。